

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。
ご意見をお聞かせください。



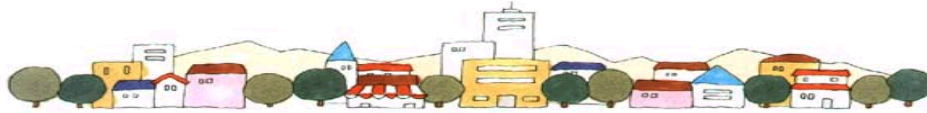
しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第37号

2010年 6月24日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

もう日本共産党しかありません！！

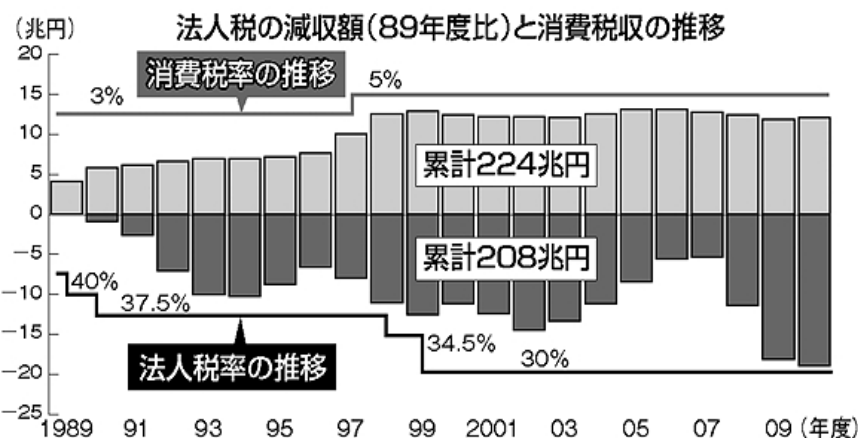


米国・財界にも堂々と
モノが言える政党！

私達はここ一年多くのことを学びました。永きに渡る自民・公明党のひどい政権を、選挙を通じて変えることが出来ること、そして、民主党の甘い言葉による理念なき政治は早晚壁にぶつかるということです。情動的な言辞だけでは、厳しい現実の前に何の光も放ちません。終ったように扱う沖縄の基地問題、大穴の開いた派遣労働法案、ずっと先送りされた後期高齢者医療、そして税制。

導入以来二十二年、累計二四兆円の消費税、この間の法人税減税分二〇八兆円、この数字が象徴するように取り易いところから取って財界の要求に應えてきた結果となっています。国の財政赤字は増えるばかり、聖域と化した軍事費五兆円には手をつけようともしません。

政治における小さい矛盾の積み重ねが、大企業と米国への追従で大きい矛盾として私たちの目の前に露呈してきています。



(注) 国・地方とも08年度までは決算額、09年度は国は補正後見込み額、地方は当初計画の見込み額、10年度は予算見込み額。法人3税は法人税、法人事業税、法人住民税

乱立する新党も、行き詰まった保守勢力の補完でしかないことも過去幾度となく学んできました。七月十一日投票で参議院選挙が行われます。常に国民と対話し、その中で練りあげた政策を主張し続ける日本共産党。議席数を伸ばし政治に大きなインパクトを与えるべく、あなたの力をお貸し下さい。選挙にあたり切に訴えます。

元木 計文

あなたの力をお貸し下さい！



元国会議員秘書
【 比例代表 】

田村 智子

【おもな経歴】

1965年、長野県小諸市生まれ。早稲田大卒。石井郁子衆院議員、井上美代参院議員の秘書などを経て07年参院選（東京選挙区）、09年東京都議選に立候補、党准中央委員。家族は夫、中学生の息子、小学生の娘。



党県青年部長
【 千葉選挙区 】

さいとう和子

【おもな経歴】

1974年船橋市生まれ、35歳。坪井小学校、坪井中学校、県立薬園台高校（園芸科）卒。1997年日本大学農獣医学部食品経済学科（現・生物資源科学部）卒。



■ 6月12日浦安市文化会館で行なわれた「新しい政治をめざす浦安のつどい」で、参加者の声援に手を振る「さいとう和子」と浦安市後援会会長の高橋さん。

私（男性）の介護体験 第5回

美浜四丁目 伊那三郎

4-2. これまで私達が工夫してきた事（続き1）

○車椅子の利用に関して

一人一人の症状にあった車椅子とその付属用具が有るように感じています。私達は、首下がりと体の傾きを少しでも抑える車椅子とその付属品を探しました。車椅子を展示している場所（リハビリ病院や輸入取扱業者）を直接訪ねたり、病院の患者さんが使用している物や介護施設でも良さそうな車椅子を見かけたら、その所有者に直接聞いたりしました。その結果、背中側に入れるクッションで、体を支えるのに良い物を見つけ、介護保険を利用



してそれを購入しました。他に、頭を支えるために“ヘッドレスト”という名の道具を利用しましたが、良い物は見つかりません。ある福祉機器を扱う業者が言うには「以前、あなた方の希望に合いそうなヘッドレストを見た事があるが、小さな業者が政府からの援助を受けて手工業的に作って

いたので、今では無いのではないかと」の事でした。個別生産に近く、政府からの援助が無くなって価格が高くなり、採算が合わないようです。ちなみに、アメリカでは車椅子関連だけでも利用者各人に100万円ほどの補助が出るそうです。

妻は座っていても姿勢を変えられないので、お尻のところに床ずれができてしまいました。空気を入れるタイプのクッションで、座った時のままに形を保持できる物（メリディアン）を見つけ、現在はそれも介護保険を利用して使用しています。

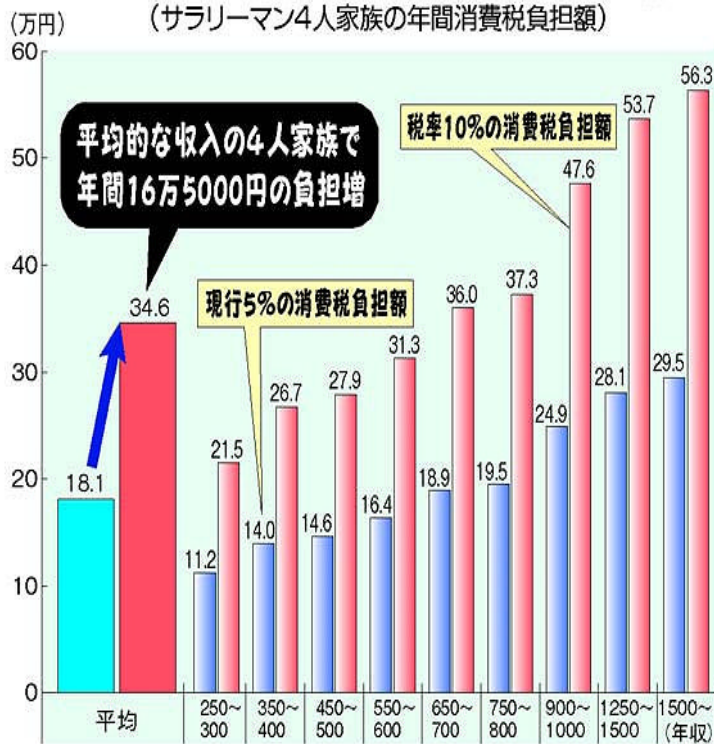
車椅子を利用していても一つの大きな問題は、段差です。歩道等での段差はかなり改善されてきていますが、未だ階段のみの場所は多く残されています。2段までの階段に関しては、幅約20センチ、長さ約90センチの木の板を買ってきて、それをスロープ代わりに利用して対処していました（図1）。何も道具がない時は、後ろ向きで、前輪を上げて、段差に大きな後輪を当てながら力づくで引っ張り上げるのが良い方法のようでした。浦安の家では、敷地の広さの関係から、玄関から道路までスロープを設置する長さを確保できませんでしたので、階段をL字のようにし、1ステップの幅を長くする（90cm）事で対応しましたが、これで十分でした。



【図1】

○旅行時の工夫

かなり早い段階で、妻は寝返りがうてなくなりました。それで、床ずれを防ぐためにベッドの硬さを調整する事が重要でした。家の中では電動エアマットを介護保険で導入し、その硬さを調整しながら使っています。旅行に行く時は大がかりなエアマットは持ち運びができませんので、簡易型のエアマットとポンプを購入しました。それなりの重さになりましたが、車で移動したり、列車を利用する時は事前に宅配便で送ったりして利用しました。車椅子もレンタカーの事務所まで送ってもらった事もありました。なお、このエアマットはデイサービスに行くときも利用しています。

消費税率を10%に増税したときの家計への影響
(サラリーマン4人家族の年間消費税負担額)

第一生命経済研究所のレポートから作成。サラリーマン4人家族は妻は専業主婦、子ども2人
平均は総務省・家計調査のデータ

消費税「10%」財界言いなりの大増税は許さない！

菅直人氏（民主党代表）が首相になったとたん、消費税10%増税の大合唱が始まりました。民主・自民・公明は参議院選挙公約で消費税増税を打ち出す一方で、大企業のための法人税減税でも一致しています。第一生命経済研究所によると、消費税が10%になると、平均的な世帯（4人家族）では年16・5万円もの負担増となり、年間34・6万円もの消費税が取られることになります。

消費増税が景気悪化の引き金になるのは明らかです。1997年4月に消費税が3%から5%へ増税さう！

今や日本列島には、消費税増税に反対する国民の怒りの声が渦巻き、参議院選挙の一大争点となっています。財界主導の法人税減税とセットになった消費税増税は絶対許さない、この思いを多くの人に広げましょ

